



We Find the Way

IR day2024 セッション 2 「日本事業の再構築」

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
2024年9月13日

経営計画2028 基本方針

経営計画2028における基本方針・重要戦略

基本 方針

- グループ全体最適志向の下、グローバルな競争力の向上と事業の成長を実現する。
- 明確な事業ポートフォリオと役割分担のもと、事業の競争力・収益性を高め、企業価値を高める。
- 社会課題解決や持続可能社会の実現へ貢献するサステナビリティ経営を実践し、顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業グループへ変革する。

売上 収益

FY2023 22,390億円
FY2028 30,000億円

グローバル市場での
事業成長の加速

海外 売上

FY2023 5,855億円
FY2028 12,000億円
M&A 3,700億円

事業 利益

FY2023 812億円
FY2028 1,500億円

サステナビリティ
経営の推進

ROE

FY2023 4.8%
FY2028 10%以上

日本事業の再構築

事業 利益率

FY2023 3.9%
FY2028 5.9%
(ロジスティクス日本)

収益性改善に向けたアプローチ

アカウントマネジメント推進体制の構築

- 重要顧客への専任体制の構築

- 44社について実施済み、25年中に体制構築予定

- 顧客別収支管理のシステム構築

ロジスティクス事業の強化

- 競争力の強化（自動化機器導入、現場支援、人財育成）

- 拠点別の収益性向上に向けた取り組み

- 大規模拠点を対象に倉庫拠点別のROICを算定済拠点にあった収益性向上策に取り組む

重点産業での取り扱い拡大

- 医薬品事業

- 半導体事業

5か年収益改善計画(総計+270億円)
+240億円（日本通運）
+ 30億円（その他日本ロジ）

日本事業強靱化施策の継続・深化

- 料金改定

5か年収益改善計画 +130億円

- ITツール活用・DXを含む、徹底した効率化

- 低収益業務の見直し

事業基盤の変革・見直し

- 特積み事業の再編

資本効率の向上等

- 支店作業会社の再編

- 日本通運の組織再編

- ・ エリア特性に則した事業体制への変革
- ・ 経営資源の適切かつ効率的な再配置

➡ 社内カンパニー制の導入（2025年1月）

日本通運の組織再編

再編の 目的

- マーケット特性の異なるエリアごとに組織を棲み分けし、それぞれの経営目標の達成に向けた体制を構築する
- 経営資源の適切かつ効率的な再配置

関東甲信越・中部・関西

→事業軸・顧客軸のユニット制

● 売上拡大を伴う利益の最大化

- アカウントマネジメント強化による取引領域拡大
- フォワーディングなどグローバル関連事業の伸長

● 生産性向上による利益率の改善

- 営業、オペレーション、後方事務の機能分離
- 戦力の一元管理による生産性向上



北海道・東北、中国・四国・九州

→社内カンパニー制

● 経営の効率化による 利益率・資本効率の改善

- 権限移譲により経営の自由度を高める
- エリア特性に応じた組織改廃、投資、採用・配置を行い、経営を効率化



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。